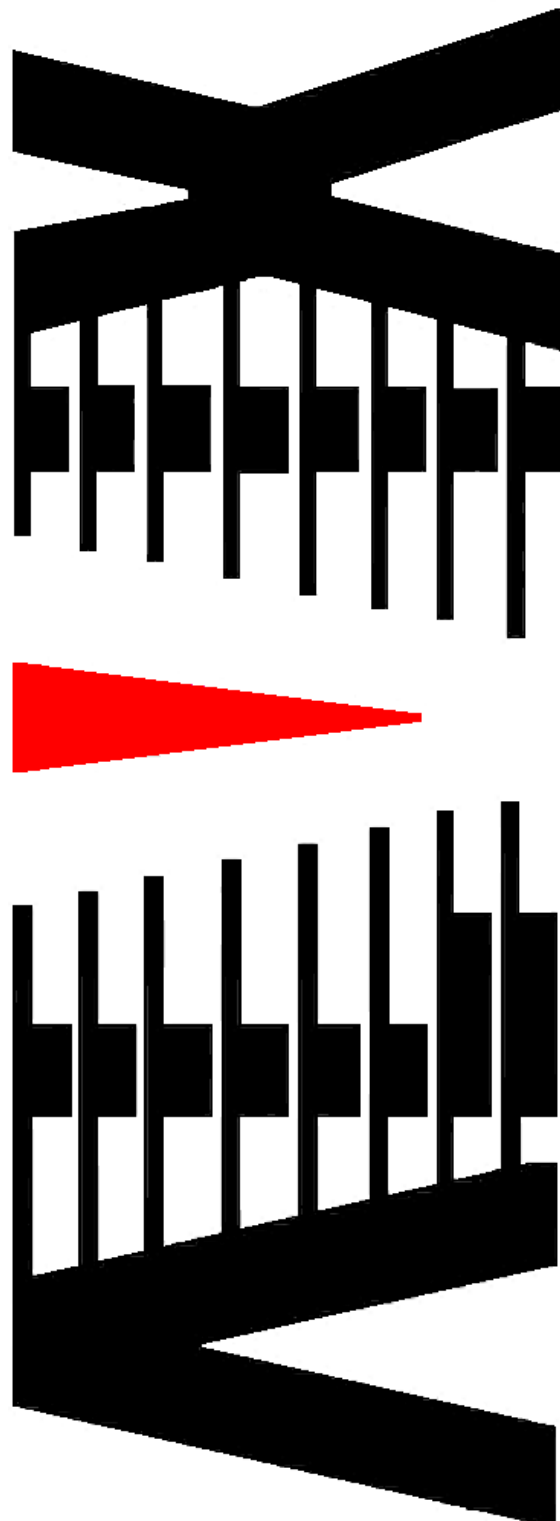


“アルビクス” マルチビューワ
MV-312HD

設定ツール取扱説明書

Ver. 1. 4



目 次

ページ

1. 概要	1
2. 画面説明	2
2. 1 メイン画面	2
2. 2 レイアウト設定	3
2. 3 レイアウト編集画面	5
2. 4 詳細設定画面	10
2. 4. 1 チャンネル設定	10
2. 4. 2 DVI 入力設定	16
2. 4. 3 時計表示設定	19
2. 4. 4 コメント設定	22
2. 5 各種メニュー機能	24
2. 5. 1 マルチビューワ IP アドレス設定	24
2. 5. 2 マルチビューワ ポート番号設定	25
2. 5. 3 チャンネル数設定	26
2. 5. 4 全設定をMVへ更新	27
2. 5. 5 ステータス表示	28
2. 5. 6 一括レイアウト設定	29
2. 5. 7 設定情報の一括設定	31
2. 5. 8 MV バージョン参照	32
2. 5. 9 バージョン情報	33
3. 特記事項	34
3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて	34

1. 概要

本書は「アルピクス・マルチビューワ〈MV-312HD〉」（以下、マルチビューワ）に添付されるソフトウェア（以下、設定ツール）の取り扱いについて説明するものです。

設定ツールは、マルチビューワに対する分割表示設定及び、マルチビューワの状態や設定情報を取得する機能を持っています。また、マルチビューワが接続されていない状態やボード増設前でもレイアウト編集等が可能であり、後日マルチビューワ接続時に、編集内容の一括設定が行えます。

2. 2 レイアウト設定

本画面では、メイン画面にマルチビューワの分割表示設定を一覧表示する際のレイアウトを設定します。接続しているマルチビューワの台数によりレイアウトを変更することができます。

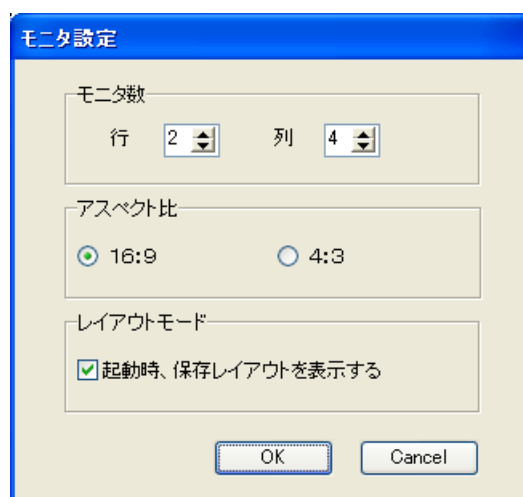


図2. 2-1 モニタ設定

① 本画面の起動

メニューバーの「レイアウト設定」→「モニタ設定」をクリックします。

② モニタ設定

1) モニタ数

一覧表示するモニタ数を設定します。接続しているマルチビューワの台数により「行」・「列」の数値を設定してください。

※ 本設定ツールでは、行1～2行、列1～4列の組み合わせにより、最大8台のマルチビューワの分割表示設定を一覧表示することが可能です。

2) アスペクト比

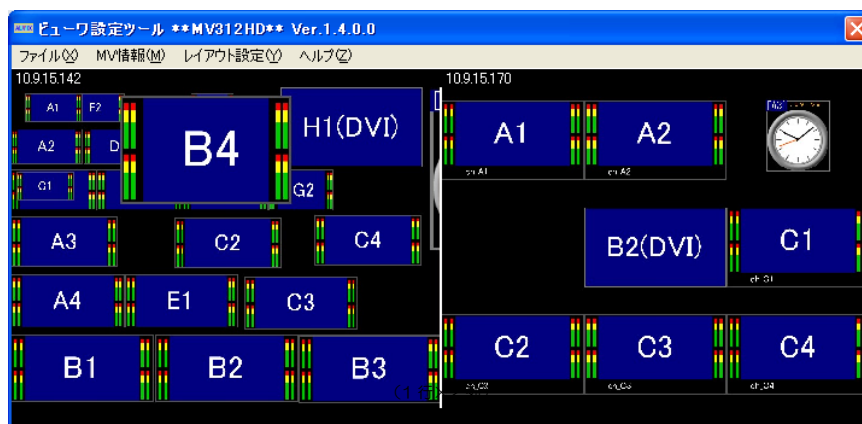
表示する画面サイズに合わせてアスペクト比を選択してください。

3) レイアウトモード

本設定ツールを起動した際に、前回終了時のレイアウト設定を表示したい場合はチェックを付けてください。

③ 設定の変更と本画面の終了

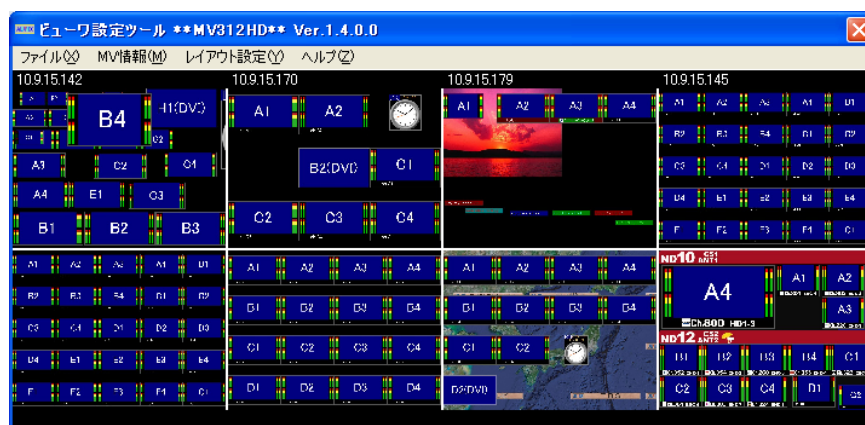
ボタンをクリックします。



(1行×2列)



(2行×4列)



レイアウト設定が反映されます。

④ 本画面の終了

ボタンをクリックします。

2. 3 レイアウト編集画面

本画面では、マルチビューワに対する分割表示設定などの各種設定を行います。

本画面で設定・更新した設定はマルチビューワに反映されます。

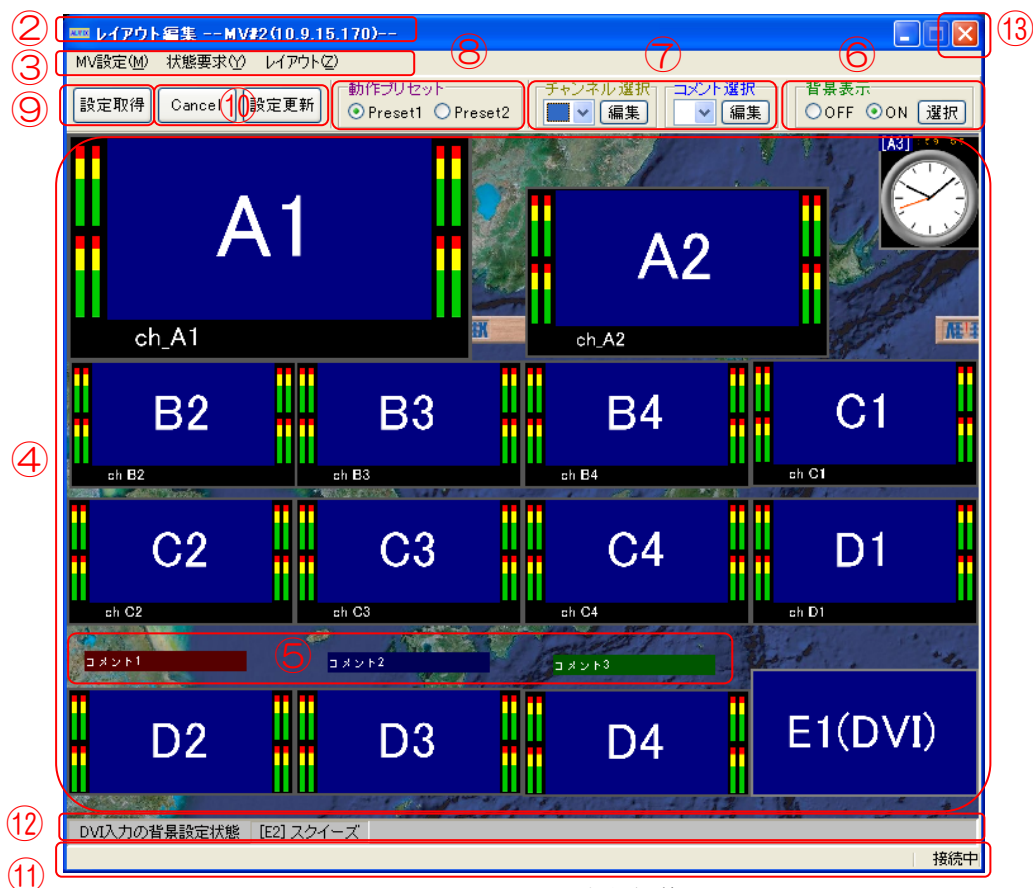
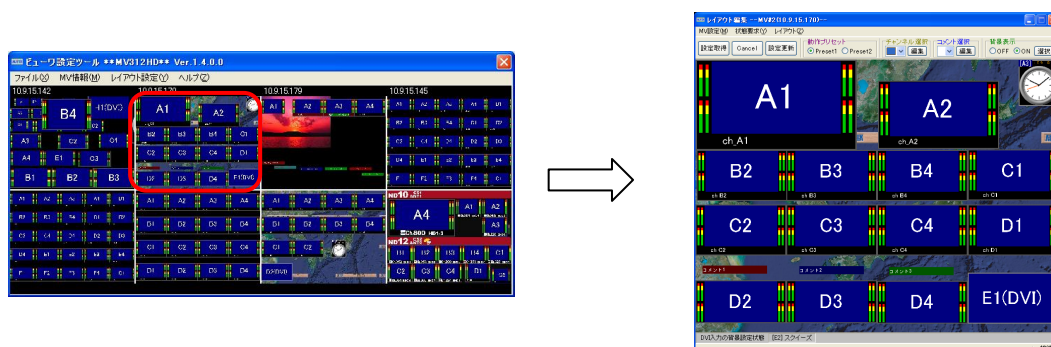


図2. 3-1 レイアウト編集画面

① 本画面の起動

メイン画面の一覧表示からレイアウト編集を行う画面をダブルクリックします。

本画面が起動します。



② タイトル表示

現在編集中のマルチビューワの番号と IP アドレスを表示します。

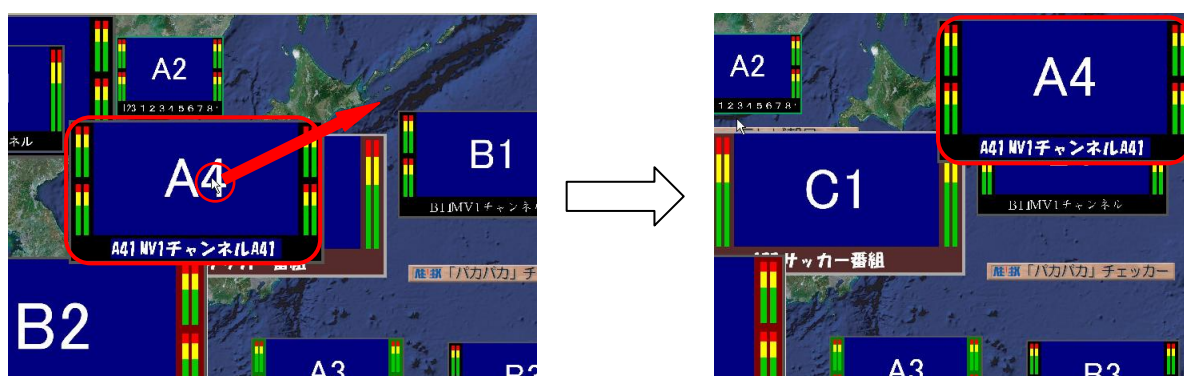
(「2. 5. 1 マルチビューワ IP アドレス設定」参照)

③ メニューバーより処理を選択します。(「2. 5 各種メニュー機能」参照)

④ 分割画面の配置・サイズ変更

1) マウス操作による配置移動

分割画面をマウスでドラッグ&ドロップすることにより配置の移動が可能です。

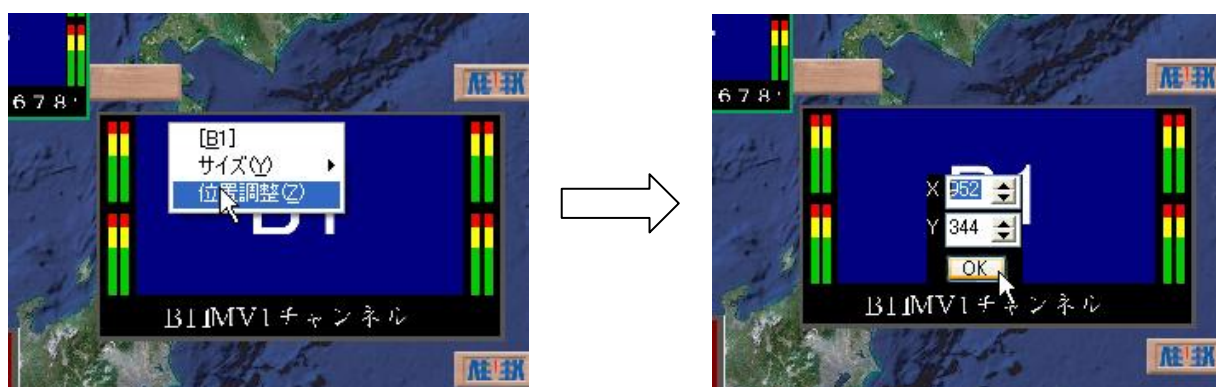


2) 座標指定による配置変更

変更を行う分割画面を右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますので「位置調整」を選択します。

分割画面の座標を指定して「OK」をクリックします。

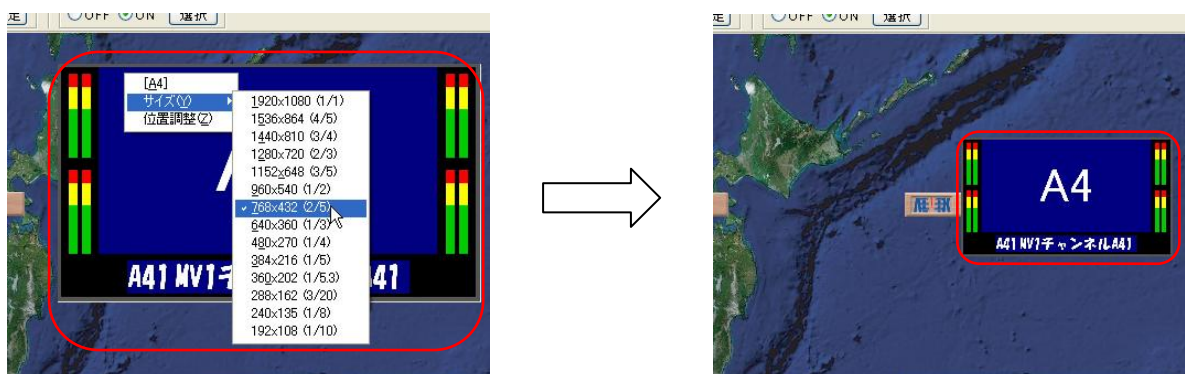


3) 画面サイズの変更

変更を行う分割画面を右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますので「サイズ変更」をクリックします。

画面サイズ選択リストが表示されますので変更後のサイズを選択し、クリックします。



画面サイズが変更されます。

⑤ コメントウィンドウ

全角12文字以内のコメントを表示することができます。

コメントウィンドウもマウスでドラッグ&ドロップや座標指定による配置の移動が可能です。

⑥ 背景表示

画面に背景を設定する場合は、**選択** ボタンをクリックし、背景画像を選択してください。

背景画像選択後、「ON」にチェックが付されます。背景を非表示にしたい場合は、「OFF」にチェックを付けてください。

※ マルチビューワ接続中、マルチビューワの背景画像は **設定更新** で切り替わります。

※ イメージサイズが(1920×1080)より小さい場合は、余白が黒となります。
大きい場合はカットされます。

※ マルチビューワ接続中、「ON」「OFF」の切り替えで
マルチビューワの背景表示も切り替わります。

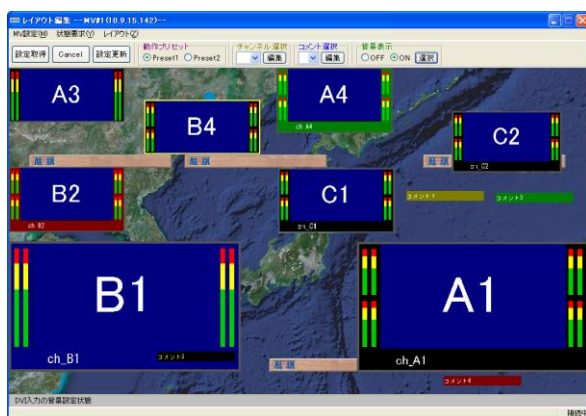
※ 選択可能なファイルは BMP ファイルと一般的な圧縮方式を使用した JPEG ファイルです。
よって、JPEG ファイルは選択できない場合もあり得ます。

⑦ チャンネル選択・コメント選択

分割画面に割り当てられたチャンネル・コメント名を選択し、**編集** をクリックすることで
チャンネル・コメントごとに詳細設定を行うことができます。(「2. 4 詳細設定」参照)

⑧ 動作プリセット切替

分割表示のレイアウトはマルチビュー 1 台につき、Preset 1・Preset 2 の 2 つを保存することができます。表示したいレイアウトにチェックを付けてください。



Preset 1 レイアウト



Preset 2 レイアウト

※ マルチビューワ接続中、チェックボックスの切り替えでマルチビューワの表示も切り替わります。

⑨ マルチビューワ設定取得

接続中のマルチビューワに保存されている設定を取得する場合は **設定取得** をクリックします。

⑩ 設定更新

設定した分割画面の配置やサイズを保存するには **設定更新** をクリックします。

(設定に変更がない場合は無効となります)

※ まず、設定ツールの設定情報を更新します。マルチビューワに接続している場合、その後、マルチビューワの設定を更新します。マルチビューワにて設定更新中は設定ツールでの変更は可能ですが、マルチビューワへの設定変更は行えません。

設定した分割画面の配置や、分割画面の詳細設定を無効にして、以前の設定に戻すには

Cancel をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

⑪ ステータス表示

マルチビューワとの接続状況が表示されます。

ステータスバーが**緑**の場合：設定取得中または、設定更新中です。

ステータスバーが**黄色**の場合：未接続です。

⑫ DV I 入力の背景設定状態

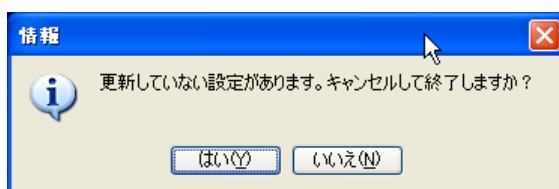
DV I 入力チャンネルが「背景として表示する」設定となっている場合
その設定状態を表示します。

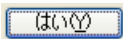
⑬ 本画面の終了

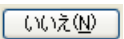
 をクリックするとマルチビューとの接続を切断し、本画面を終了します。

※マルチビューにて設定更新中は、終了できません。

※ 画面配置や分割画面の詳細設定変更後に、設定更新を行わずに終了した場合、以下のダイアログが表示されます。



変更した設定を保存せずに終了する場合には  をクリックし、本画面を終了します。

本画面の終了を中止し、レイアウト編集に戻る場合は、 をクリックします。

2. 4 詳細設定画面

2. 4. 1 チャンネル設定

本画面では、各チャンネル別の各種設定更新を行います。

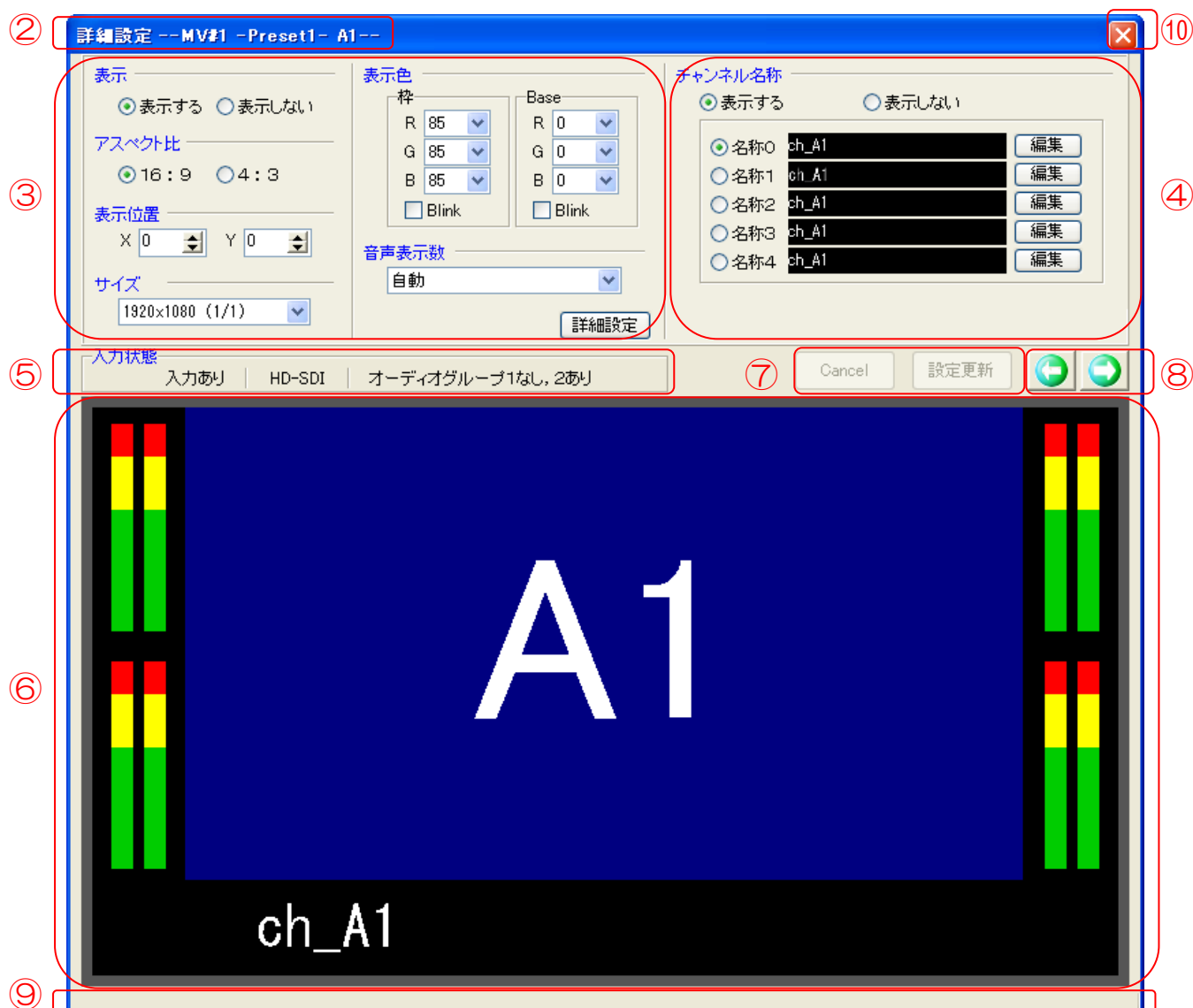
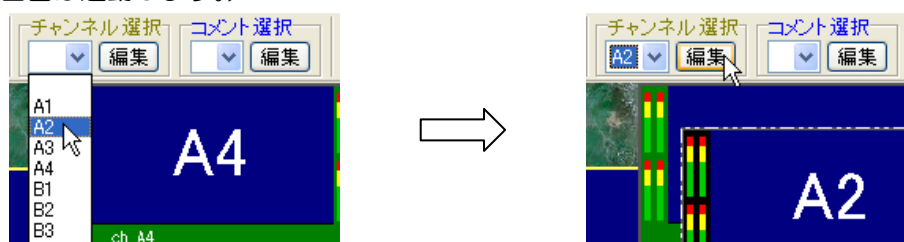


図2. 4-1 チャンネル設定画面

① 本画面の起動

「2. 3 レイアウト編集画面」で詳細設定を行う分割画面をダブルクリックします。

(チャンネル選択で詳細設定を行うチャンネル名を選択し、**編集** をクリックすることでも本画面は起動します。)



② タイトル表示

現在編集集中のチャンネル名と動作プリセットを表示します。

③ チャンネル設定

1) 表示設定

「表示する」にチェック…選択されているチャンネルを表示します。

「表示しない」にチェック…選択されているチャンネルを表示しません。

2) アスペクト比の設定

「16:9」にチェック・・・アスペクト比「16:9」で表示します。

「4:3」にチェック・・・アスペクト比「4:3」で表示します。

3) 表示位置の設定

表示位置を設定します。

4) サイズ変更の設定

画面サイズを設定します。

リストから画面サイズを選択します。

5) 表示色の設定

a) 枠

表示色を設定します。

RGB の出力を各リストから選択します。

枠を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを付けてください。

b) Base

Base 色を設定します。

RGB の出力を各リストから選択します。

背景を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを付けてください。

※ 表示色が指定どおりプレビューされない場合は、使用しているディスプレイの「画面の色」の設定が最高（32ビット）に設定されていることを確認ください。

確認方法は、デスクトップ上で右クリック → ポップアップメニューからプロパティ → 画面のプロパティの設定タブ → 画面の色、となります。

6) 音声表示数の設定

設定チャンネルの音声表示数を設定します。リストから音声表示数を選択します。

7) フィルタ設定

フィルタを設定します。

H方向・V方向それぞれの値をリストから選択します。

④ チャンネル名の設定

1) 表示設定

「表示する」にチェック…チャンネル名称を表示します。

「表示しない」にチェック…チャンネル名称を表示しません。

2) チャンネル名称選択設定

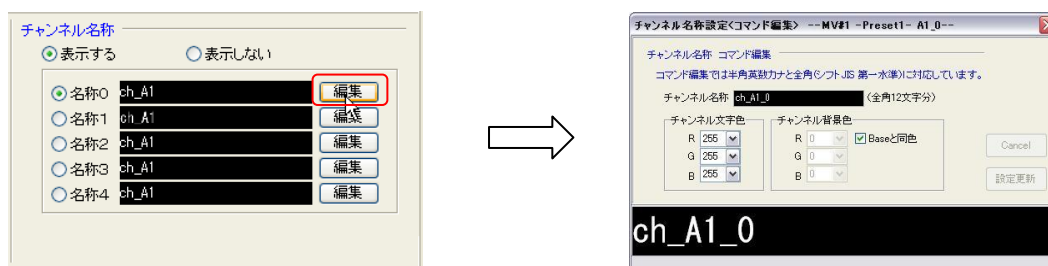
分割画面1つに対し、5個のch名称を設定できます。

予め編集した5個(名称選択 0~4)の中から表示するチャンネル名を1つ選択します。

3) チャンネル名称編集

5個のチャンネル名称をそれぞれ別々に編集することができます。

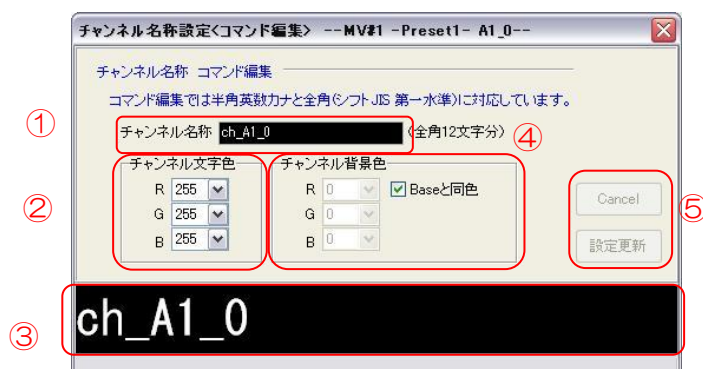
それぞれのチャンネル名称に対し **編集** をクリックします。



a. 名称0：チャンネル名称設定（コマンド編集）

入力された文字をコマンドで本体に転送します。

（フォント、文字サイズは本体内部のものを使用します。）



a-① チャンネル名称

チャンネル名称となる文字を入力します。

半角英数カナと全角（シフトJIS第一水準）に対応しています。

a-② チャンネル文字色

入力した文字の文字色を設定します。

a-③ プレビュー表示

チャンネル文字イメージをプレビューします。

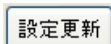
a-④ チャンネル背景色

チャンネル名称表示の背景色を設定します。

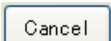
背景表示色を Base と同色にする場合、「Base と同色」にチェックを付けてください。

a-⑤ 設定の更新

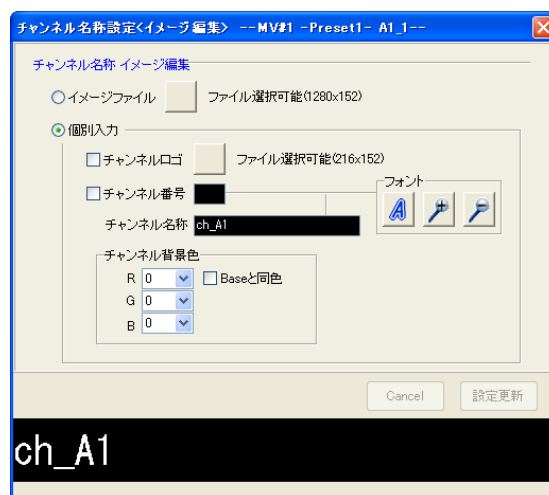
変更した詳細設定を保存するには

 をクリックします。（設定に変更がない場合は無効となります）

変更した詳細設定をキャンセルして、以前の設定に戻すには

 をクリックします。（設定に変更がない場合は無効となります）

b. 名称1～4；チャンネル名称設定（イメージ編集）



・イメージファイル

画像ファイルを j p g ファイルとして本体に転送し表示できます。

・個別入力

チャンネルロゴ、チャンネル番号、チャンネル名称を個別に設定できます。

入力された文字を j p g ファイルとして本体に転送し表示できます。

（フォント、文字サイズは任意に設定ができます。）

4-1) チャンネル名にイメージファイルを設定する場合

「イメージファイル」にチェックを付けてください。



をクリックし、設定するイメージを指定します。

※ イメージサイズは 1/1 サイズ(1280×152)を推奨します。

4-2) 個別にチャンネル名を設定する場合

「個別設定」にチェックを付けてください。

a) チャンネル名にロゴを挿入する場合

「チャンネルロゴ」にチェックを付けてください。



をクリックし、設定するイメージを指定します。

※ ロゴサイズは 1/1 サイズ(216×152)を推奨します。

b) チャンネル番号を変更する場合

「チャンネル番号」にチェックを付けてください。

テキストボックスにチャンネル番号を入力します。

c) チャンネル名称を変更する場合

テキストボックスにチャンネル名称を入力してください。

※ チャンネル番号及び、チャンネル名称は  をクリックすると
フォントの変更が可能になります。



をクリックするとプレビューされているチャンネル文字のフォントサイズ
文字を拡大 が大きくなります。



をクリックするとプレビューされているチャンネル文字のフォントサイズ
文字を縮小 が小さくなり、より多くの文字が設定できます。

※ 選択可能なファイルは BMP ファイルと一般的な圧縮方式を使用した
JPEG ファイルです。

よって、JPEG ファイルは選択できない場合もあり得ます。

c) チャンネル背景

チャンネル名の背景表示色を設定します。

RGB の出力を各リストから選択します。

背景表示色を Base と同色にする場合、「Base と同色」にチェックを付けてください。

⑤ 入力状態の表示

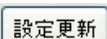
選択チャンネルの信号入力状態を表示します。

⑥ プレビュー表示

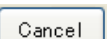
チャンネル設定イメージをプレビュー表示します。

⑦ 設定の更新

変更した詳細設定を保存するには

 をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

変更した詳細設定をキャンセルして、以前の設定に戻すには

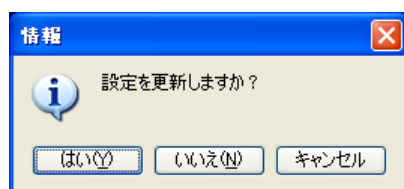
 をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

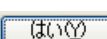
⑧ 設定チャンネルの切り替え

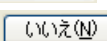
チャンネルを順送りしたい場合は  をクリックします。

チャンネルを逆送りしたい場合は  をクリックします。

※ 設定変更後に更新をせず、チャンネルの切り替えを行なった場合、以下のメッセージが表示されます。



設定を保存してチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

設定を保存せずにチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

チャンネル切り替えを中止する場合は、 をクリックします。

⑨ ステータス表示

マルチビューワとの接続状況が表示されます。

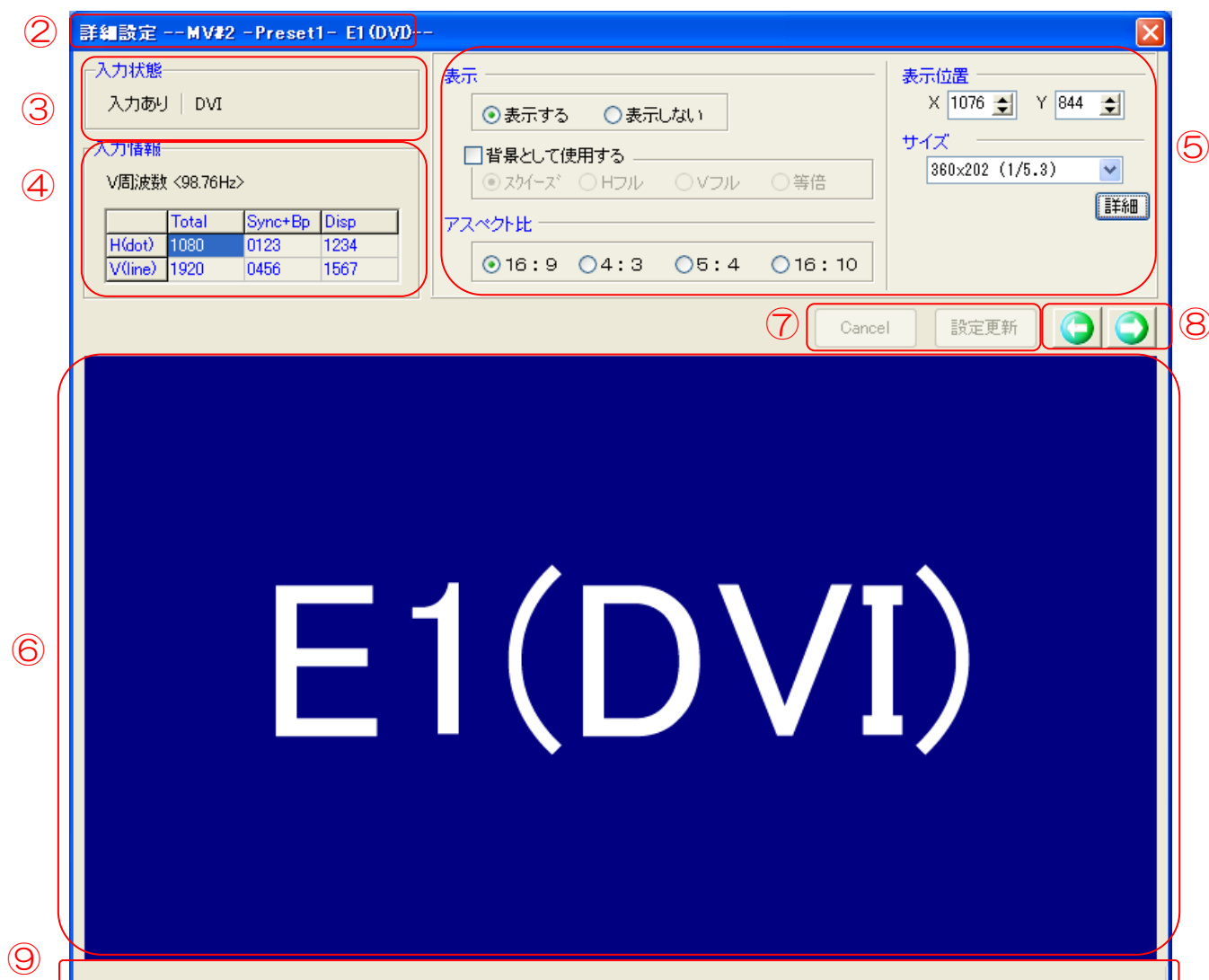
ステータスバーが  の場合 : 設定更新中です。

⑩ 本画面の終了

 をクリックすると本画面を終了します。

2. 4. 2 DVI 入力設定

本画面では、各DVI入力の設定を行います。



① 本画面の起動

「2. 3 レイアウト編集画面」で設定を行うDVI分割画面をダブルクリックします。
(チャンネル選択で詳細設定を行うチャンネル名を選択し、**編集** をクリックすることでも本画面は起動します。)

② タイトル表示

現在編集集中のチャンネル名と動作プリセットを表示します。

③ 入力状態

選択チャンネルの信号入力状態を表示します。

④ 入力情報

選択チャンネルの信号入力詳細を表示します。

⑤ チャンネル設定

1-1) 表示設定

「表示する」にチェック…選択チャンネルを表示します。

「表示しない」にチェック…選択チャンネルを表示しません。

1-2) 「背景として使用する」にチェックしている場合

a. 「2. 2レイアウト設定②モニタ設定 アスペクト比」を16:9でマルチビューワに設定している時

「スクイーズ」にチェック・・・出力が1920×1080になるよう
入力信号を変換し表示します。

「Hフル」にチェック・・・出力のH方向サイズが1920になるよう
入力信号を変換し表示します。

「Vフル」にチェック・・・出力のV方向サイズが1080になるよう
入力信号を変換し表示します。

「等倍」にチェック・・・入力信号を等倍とし、1920×1080で表示します。

b. 「2. 2レイアウト設定②モニタ設定 アスペクト比」を4:3でマルチビューワに設定している時

「スクイーズ」にチェック・・・出力が1440×1080になるよう
入力信号を変換し表示します。

「Hフル」にチェック・・・出力のH方向サイズが1440になるよう
入力信号を変換し表示します。

「Vフル」にチェック・・・出力のV方向サイズが1080になるよう
入力信号を変換し表示します。

「等倍」にチェック・・・入力信号を等倍とし、1440×1080で表示します。

※「2. 3 レイアウト編集画面 ⑥背景表示」が「ON」の場合は
DVI入力は背景として表示されません。(背景設定が優先されます)

1-3) 「背景として使用する」にチェックしていない場合

アスペクト比の設定

「16:9」にチェック・・・アスペクト比「16:9」で表示します。

「4:3」にチェック・・・アスペクト比「4:3」で表示します。

「5:4」にチェック・・・アスペクト比「5:4」で表示します。

「16:10」にチェック・・・アスペクト比「16:10」で表示します。

3) 表示位置の設定

表示位置を設定します。

4) サイズ変更の設定

画面サイズを設定します。

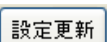
リストから画面サイズを選択します。

⑥ プレビュー表示

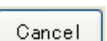
チャンネル設定イメージをプレビュー表示します。

⑦ 設定の更新

変更した詳細設定を保存するには

 をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

変更した詳細設定をキャンセルして、以前の設定に戻すには

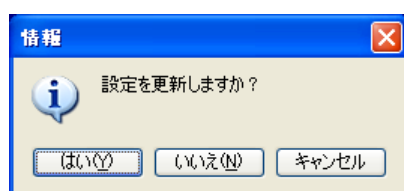
 をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

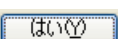
⑧ 設定チャンネルの切り替え

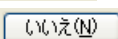
チャンネルを順送りしたい場合は  をクリックします。

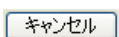
チャンネルを逆送りしたい場合は  をクリックします。

※ 設定変更後に更新をせず、チャンネルの切り替えを行なった場合、以下のメッセージが表示されます。



設定を保存してチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

設定を保存せずにチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

チャンネル切り替えを中止する場合は、 をクリックします。

⑨ ステータス表示

マルチビューワとの接続状況が表示されます。

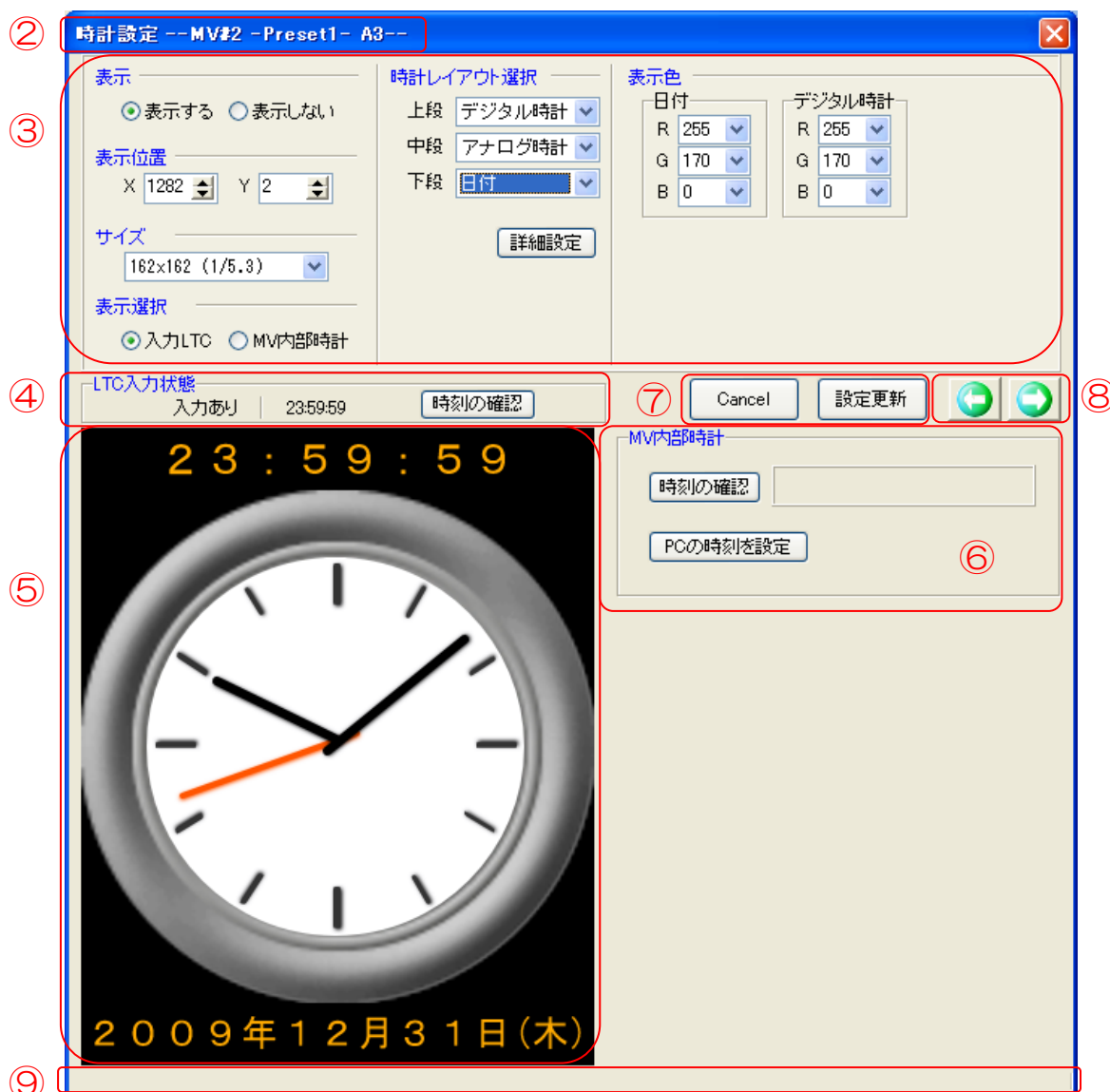
ステータスバーがの場合 : 設定更新中です。

⑩ 本画面の終了

 をクリックすると本画面を終了します。

2. 4. 3 時計表示設定

本画面では、時計の表示設定を行います。



① 本画面の起動

「2. 3 レイアウト編集画面」で時計画面をダブルクリックします。

(チャンネル選択で詳細設定を行うチャンネル名を選択し、**編集** をクリックすることでも本画面は起動します。)

② タイトル表示

現在編集集中のチャンネル名と動作プリセットを表示します。

③ 時計表示設定

1) 表示設定

「表示する」にチェック…選択されているチャンネルを表示します。

「表示しない」にチェック…選択されているチャンネルを表示しません。

2) 表示位置の設定

表示位置を設定します。

3) サイズ変更の設定

画面サイズを設定します。

リストから画面サイズを選択します。

4) 表示選択の設定

「入力LTC」にチェック…LTCの時刻を表示します。

「MV内部時計」にチェック…MV内部時計の時刻を表示します。

5) 時計レイアウト選択の設定

上段、中段、下段に表示する時計レイアウトを設定します。各リストから選択します。

※ 同じ時計を違う段に表示は出来ません。

例) 上段：デジタル時計、中段：デジタル時計 → ×

※ 上段から詰めて設定してください。

例) 上段：デジタル時計、中段：表示無し、下段：アナログ時計 → ×

上段：デジタル時計、中段：アナログ時計、下段：表示無し → ○

6) 表示色の設定

a) 日付

文字色を設定します。RGB の出力を各リストから選択します。

b) デジタル時計

文字色を設定します。RGB の出力を各リストから選択します。

※ 表示色が指定どおりプレビューされない場合は、使用しているディスプレイの「画面の色」の設定が最高（32ビット）に設定されていることを確認ください。

確認方法は、デスクトップ上で右クリック → ポップアップメニューからプロパティ
→ 画面のプロパティの設定タブ → 画面の色、となります。

④ LTC入力状態の表示

LTC入力状態と現在時刻を表示します。

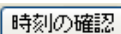
⑤ プレビュー表示

時計設定イメージをプレビュー表示します。

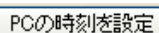
⑥ MV内部時計の設定と確認

MV内部時計の設定と現在時刻の確認を行います。

1) MV内部時計の確認



をクリックします。MV内部時計の現在時刻を表示します。



をクリックします。PCの現在時刻をMV内部時計に設定します。

⑦ 設定の更新

変更した詳細設定を保存するには



をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

変更した詳細設定をキャンセルして、以前の設定に戻すには



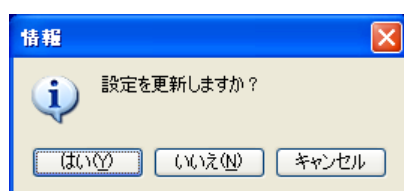
をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

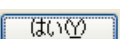
⑧ 設定チャンネルの切り替え

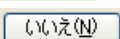
チャンネルを順送りしたい場合は  をクリックします。

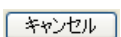
チャンネルを逆送りしたい場合は  をクリックします。

※ 設定変更後に更新をせず、チャンネルの切り替えを行なった場合、以下のメッセージが表示されます。



設定を保存してチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

設定を保存せずにチャンネルを切り替える場合には  をクリックしてください。

チャンネル切り替えを中止する場合は、 をクリックします。

⑨ ステータス表示

マルチビューワとの接続状況が表示されます。

ステータスバーが  の場合 : 設定更新中です。

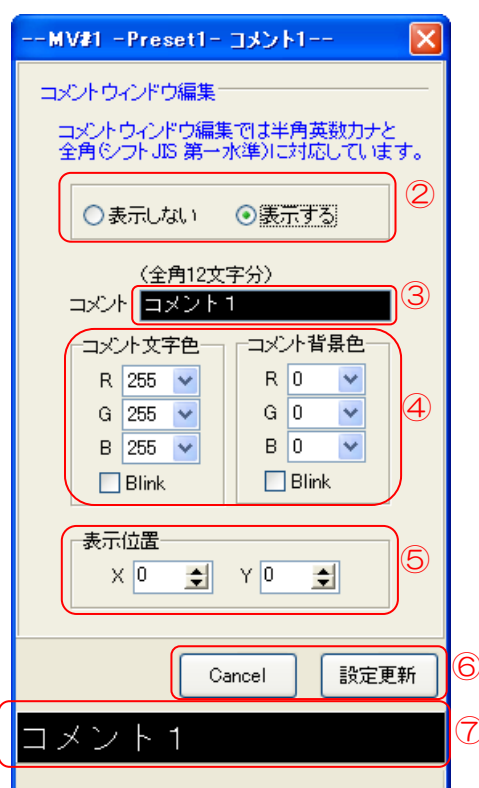
⑩ 本画面の終了



をクリックすると本画面を終了します。

2. 4. 4 コメント設定

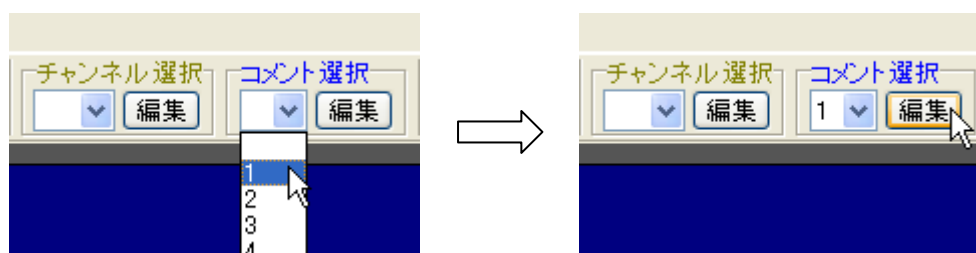
本画面ではコメントウィンドウの設定更新を行います。



2. 4-2 コメントウィンドウ編集画面

① 本画面の起動

「2. 3 レイアウト編集画面」でコメントウィンドウをダブルクリックします。
 (コメント選択で詳細設定を行うコメント名を選択し、**編集** をクリックすることでも本画面は起動します。)



② 表示設定

「表示する」にチェック…マルチビューワに表示します。
 「表示しない」にチェック…マルチビューワに表示しません。

③ コメント入力画面

コメント内容を入力します。

④ 表示色の設定

1) コメント文字色

コメント文字の色を設定します。

RGB の出力を各リストから選択します。

文字を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを付けてください。

2) コメント背景色

コメントウィンドウの背景色を設定します。

RGB の出力を各リストから選択します。

背景を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを付けてください。

※コメント文字色と背景色を、同色又は似たような色に設定すると、文字が読めなくなりますので、ご注意ください。

⑤ 表示位置の設定

表示位置を設定します。

⑥ 設定の更新

変更した詳細設定を保存するには

 設定更新

をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

変更した詳細設定をキャンセルして、以前の設定に戻すには

 Cancel

をクリックします。(設定に変更がない場合は無効となります)

⑦ プレビュー表示

コメントウィンドウ設定イメージをプレビュー表示します。

2. 5 各種メニュー機能

2. 5. 1 マルチビューワ IP アドレス設定

本画面では、マルチビューワの IP アドレスを設定し、接続を行ないます。

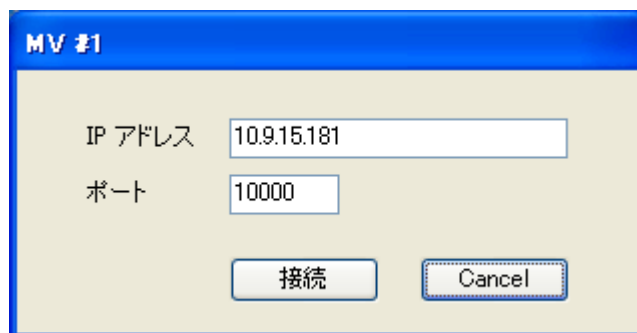


図2. 5-1 MV IP アドレス設定

- ① 本画面の起動
「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「MV 設定」→「MV IP アドレス設定」→「設定／接続」をクリックします。
- ② 設定値の編集
接続するマルチビューワの IP アドレスとポート番号を入力します。
- ③ 本画面の終了とマルチビューワとの接続
設定を保存し、本画面を終了するには をクリックします。

設定を中止し、画面を終了するには をクリックします。
- ④ マルチビューワとの通信を切断するには「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「MV 設定」→「MV IP アドレス設定」→「切断」をクリックします。

2. 5. 2 マルチビューワ ポート番号設定

本画面では、マルチビューワが本設定ソフトとの通信に使用するポート番号を設定します。

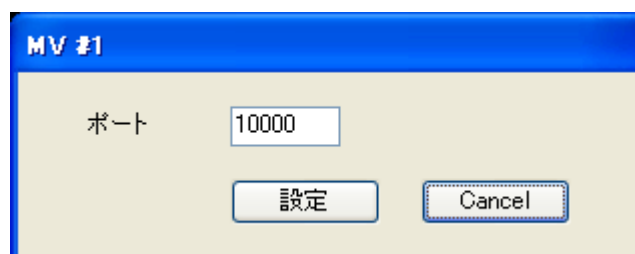


図2. 5-2 ポート番号設定

① 本画面の起動

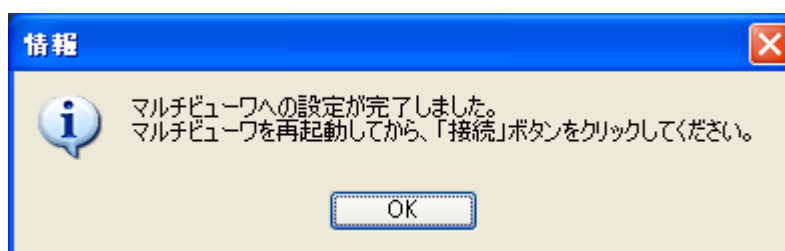
「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「MV 設定」→「MV へポートを設定」をクリックします。

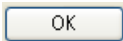
② ポート番号設定

通信を行うマルチビューワのポート番号を入力します。

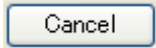
③ 設定の保存とキャンセル

設定変更を保存し本画面を終了するには、 をクリックします。
以下のダイアログが表示されます。



 をクリックし、マルチビューワを再起動してください。

以上でマルチビューワのポート番号が変更されましたので、「2. 5. 1 マルチビューワ IP アドレス設定」を参照し、接続を行なってください。

設定変更を中止し本画面を終了するには  をクリックします。

2. 5. 3 チャンネル数設定

本画面では、マルチビューワから入力されるチャンネル数を設定します。

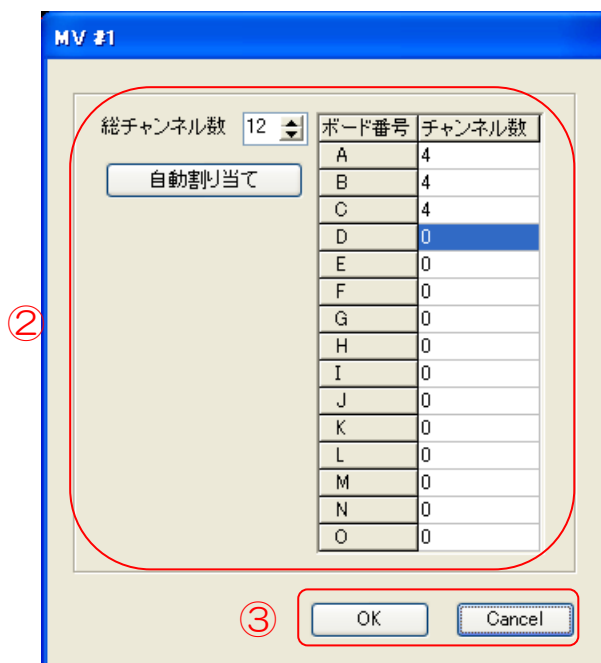


図2. 5-3 チャンネル数設定

① 本画面の起動

「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「MV 設定」→「チャンネル数設定」をクリックします。

② チャンネル数設定

1) 総チャンネル数設定

総チャンネル数を入力してください。

2) ボード別チャンネル数設定

をクリックすると、ボード番号別にチャンネル数を 4ch ずつ割り当てます。

ボード番号別にチャンネル数を手入力することも可能です。

③ 設定の保存とキャンセル

設定変更を保存し本画面を終了するには ボタンをクリックします。

設定変更を中止し本画面を終了するには ボタンをクリックします。

2. 5. 4 全設定をMVへ更新

画面メニューより、PCにある設定状態をマルチビューワへ設定します。



- ① 画面メニューバー 「MV設定」→「全設定をMVへ更新」を選択
- ② PCの設定情報でマルチビューワが設定されます。

2. 5. 5 ステータス表示

本画面では接続中のマルチビューワのステータス情報を表示します。

ステータス表示--MV #1--

機器状態

ユニット番号	機器状態
ID0	正常
ID1	正常
ID2	正常
ID3	正常

出力同期状態

内部同期動作中

チャンネル数

ボード番号	チャンネル数
A	4
B	4
C	4
D	4
E	4
F	4
G	4
H	4
I	4
J	4
K	4
L	4
M	4
N	4
O	4
総ch数	60

要求実行

Close

図2. 5-4 ステータス表示

- ① 本画面の起動
「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「状態要求」→「ステータス表示」をクリックします。
- ② ステータスの表示
接続中のマルチビューワのステータスを表示するには **要求実行** をクリックします。
- ③ 本画面の終了
ステータス確認後、本画面を終了するには、**Close** をクリックします。

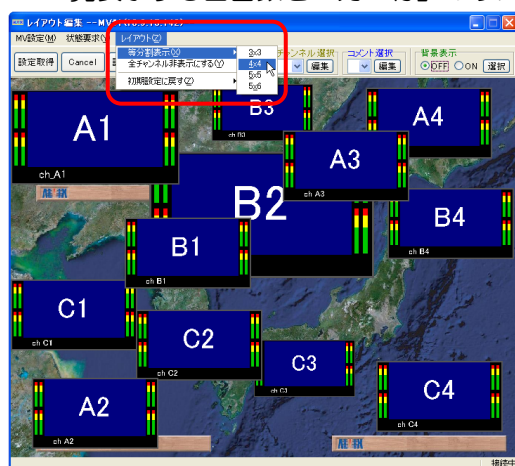
2. 5. 6 一括レイアウト設定

「2. 3 レイアウト編集」では全チャンネルのレイアウトを一括で変更することができます。

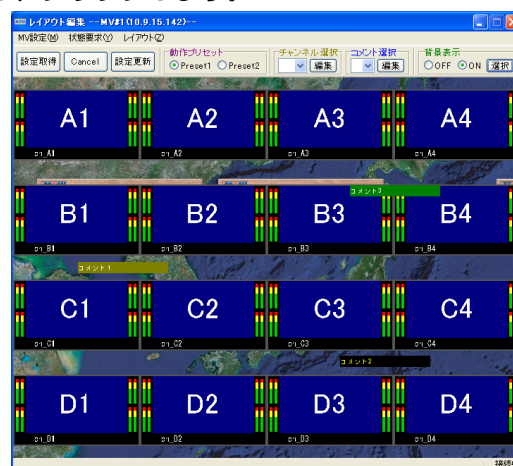
1) 等分割表示

動作プリセットの全分割画面を同一サイズで整列させることができます。

「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「レイアウト」→「等分割表示」をクリックします。
一覧表示する画面数を「列×行」のリストから選択し、クリックします。



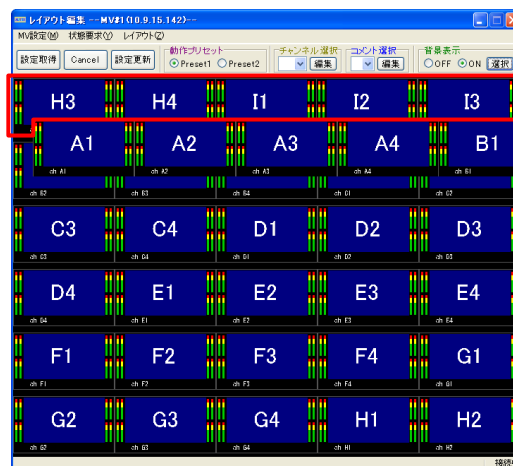
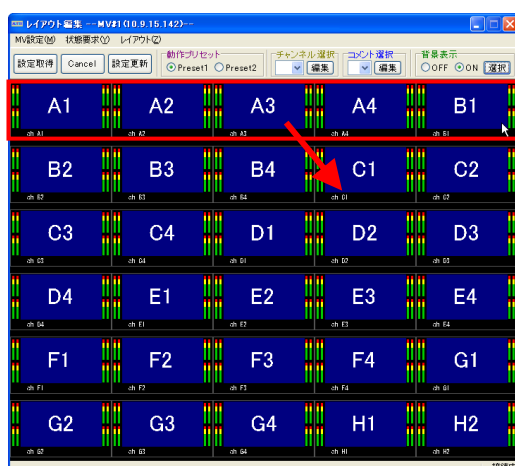
「等分割表示」→「4×4」をクリック



16 画面が一覧表示されます。

※ 本設定ツールでは最大 60 チャンネルの分割表示が可能です。

入力されているチャンネル数が、一覧表示されている画面数より多い場合、一覧表示されているチャンネル以外は背面に表示されます。



【例】 31 チャンネル以上を「5×6」で等分割した場合、31 チャンネル以降は、背面に表示されます。

2) 全チャンネル非表示

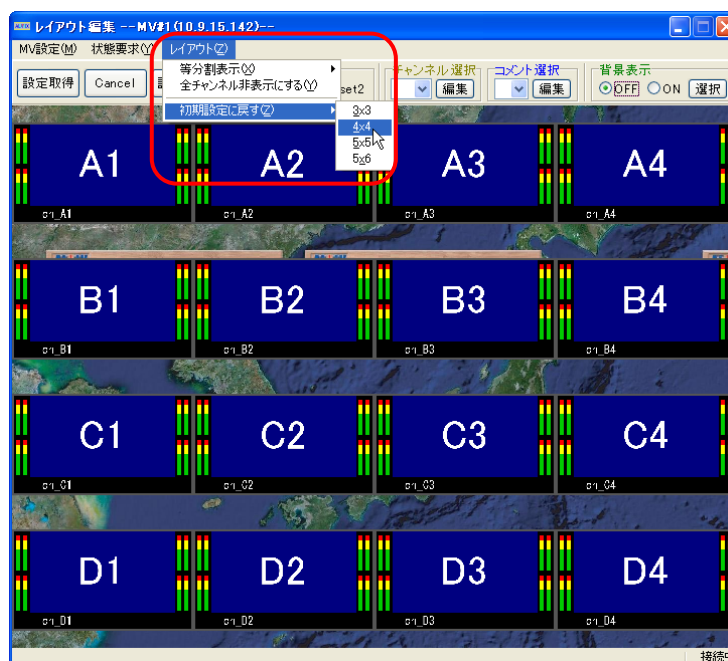
一括して動作プリセットの全分割画面を非表示に設定します。

「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「レイアウト」→「全チャンネル非表示にする」をクリックします。

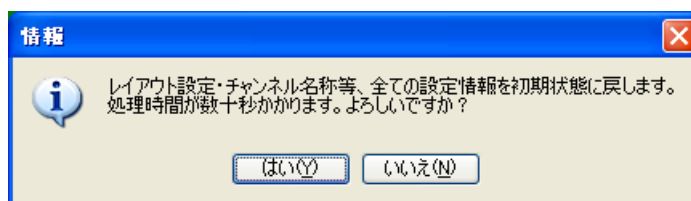
3) レイアウトの初期化

レイアウト設定・チャンネル名称等の全ての設定情報を初期状態に戻します。

「2. 3 レイアウト編集」のメニューバー「レイアウト」→「初期設定に戻す」→初期化後に表示する画面数を「列×行」のリストから選択し、クリックします。



以下のメッセージが表示されます。



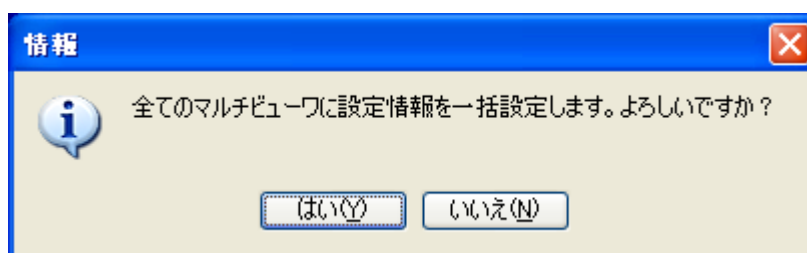
レイアウトを初期設定に戻す場合は、 をクリックします。

レイアウトの初期化を中止するには、 をクリックします。

2. 5. 7 設定情報の一括設定

接続状態にある全てのマルチビューフに設定情報を一括設定します。

「2. 1 メイン画面」のメニューバー「MV 情報」→「一括設定」をクリックします。
以下のダイアログが表示されます。



全てのマルチビューフに設定情報を一括設定する場合は、 をクリックします。
一括設定を中止する場合は、 をクリックします。

2. 5. 8 MV バージョン参照

本画面では、マルチビューワのバージョン情報を表示します。

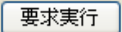


図2. 5-7 MVバージョン参照画面

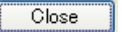
① 本画面の起動

「2. 1 メイン画面」のメニューバー「ヘルプ」→「MV バージョン」をクリックします。

② MV バージョン情報の取得・表示

 ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

2. 5. 9 バージョン情報

本画面では、設定ツールのバージョン情報を表示します。



図2. 5－8 バージョン情報画面

- ① 本画面の起動
「2. 1 メイン画面」のメニューバー「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。
- ② 本画面の終了
本画面をクリックします。

3. 特記事項

3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田町法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038